



KAMO Junior High School NEWS



鴨志田中学校通信

鴨志田中学校
鴨中PTA

職員室より

きゅうじん こう いっき か
「九仞の功を一簣に虧く」

副校長 高沢 忠弘

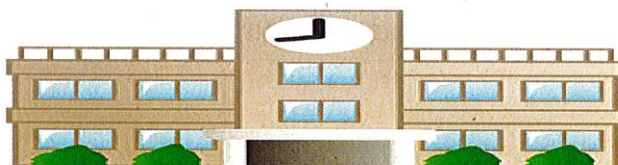
昨年の今頃は、夏休みの終わりが早まりそれまでで一番長い2学期を終える時期でありました。今年は新型コロナウイルスの第5波が収束しつつあり、海外と比べ落ち着いた日常を取り戻している今日この頃です。少しずつ行事も行われるようになりました。改めて、皆で同じ時間を共有できることの素晴らしさを実感しています。できなくなって初めて感じた「できることのありがたさ」があったからこそ、できるようになって感じた「ありがたさ」がより特別なものになったのかもしれない。

人とのつながりも同じです。人との関わりが希薄になり、声をかけるのはばかられるような状況が続き、人との関わり大切さを感じてきました。しかし、徐々に人と関わる場面が増えるにつれて、人の温かさの大切さを今まで以上に実感するようになりました。先日、鴨志田西団地付近で、具合が悪く倒れてしまったときに、「大丈夫ですか」と声をかけ周囲の人と協力して助けてくれた生徒がいるとお礼の電話がありました。戸惑う気持ちもあったかもしれませんが、とっさに声をかけ行動することができたことはとても勇気があり、あったかい心の持ち主だと、心温まる御連絡でした。また別の機会には、お店の前で自転車を倒してしまった方に、とっさに「大丈夫ですか」と声をかける生徒がいたという話も伺いました。さらに、選挙ポスターがはがれているのを一生懸命に直してくれていた生徒がいたとか、迷子の小さい子が母親に会えるまで、近くにいて声をかけてあげていたという生徒もいたとか、どれも温かい話が聞こえてきました。人との関わり希薄になって感じた人の温もりの大切さを、鴨中生のあったかい行動を通して、改めて実感し考えさせられました。人との関わりが増えると軋轢が生じ、心無く命が軽んぜられるニュースが増えていることも事実です。だからこそ、近くにいる人を大切にできるあったかさを重要性が重みを増しています。これからも、自分ができることを自分らしくできるあったかい鴨中生であってほしいと思います。これこそが鴨志田地区で大切にしている「気づきの和」の思いだと思います。

さて、12月は一年を振り返り、自分を見直す良い時期です。生徒の皆さんは期末試験を終えて自分の成果を確認し、また面談を通してこの半年を振り返り、気持ちを新たにしている所だと思います。うまくいかないこともあったと思いますが、自分の頑張りを見つめ、それを次につなげるようにしましょう。また、自分では気付けない周りの人からの客観的な助言を素直に受けとめ、胸に手を当てることは、さらなる飛躍に必要なことです。残りわずかになった今年のうちに、学年のまとめとなる3学期に向けて、次の学年での自分の姿を思い描きながら、新しい目標を立てるようにしましょう。特に3年生は、卒業式までが「義務教育9年間のまとめの時間」になります。どのように過ごすかを思いめぐらし、胸を張って卒業式を迎えられるように準備をしてください。

「九仞の功を一簣に虧く」という言葉は、尊敬する恩師に教わったものです。昨年も紹介しましたが、事が完成する直前の最後の努力の大切さを諭す言葉です。大きな山を造るにも、あと一盛りのところまで止めてしまえば、山は完成しません。最後の時間を大切に、人生の土台となる大きなしっかりとした山を築いてください。

人の行き来が多くなる年末年始ですが、感染予防を怠ることなく、また、周りの人への感謝と優しさを忘れず、有意義な時間をお過ごしください。



はまっこ読書の目

図書委員会では、はまっこ読書の日に、各クラスで「絵本の読みきかせ」を行いました。

事前に図書委員は、みんなに聞いてもらいたい絵本を選び、読み聞かせの準備と練習をしました。「絵本の読みきかせ」を通して本に親んでもらおうというのがねらいです。

朝読書の時間に、教室のテレビの大画面に絵本の絵を映して、ゆっくりと感情をこめて、みんなの前で絵本を読みました。聴いている生徒も絵本の絵の美しさや物語の世界にどんどん引き込まれていました。

最近デジタル化が進み、活字離れが進んでいるといわれていますが、鴨志田中の図書館にはいつもたくさんの生徒が集まっています。図書館の学校司書の山下さんや担当の先生、そして図書委員会の生徒たちは、鴨志田中の生徒の皆さんが、図書館や本に親んでもらいたいといろいろな趣向を凝らしています。

子どものころから活字を読むことに慣れていると、これから先の人生で、本の中から学ぶことができ、心も豊かに世界が広がります。鴨志田中の図書館には、たくさんの良い本がそろっています。3年間の学校生活で少しでも多くの本に出合ってもらえたらと思います。

図書委員が選んだ絵本の読み聞かせから、あらためて、心がほっこりするような素晴らしい絵本が図書室にはいっぱいあるのだなと感じました。



稲作実行委員会

新型コロナの感染拡大が危惧される中で、今年は5月28日の代かきから作業を開始しました。稲は暑い夏にも耐えて順調に生育し、10月21日に稲刈りを行いました。講師の木村先生他NPOの講師の方の指導のもと、実行委員も一生懸命に活動しました。

12月13日(月)に収穫祭を校内TV放送で行いました。その後各教室で、農薬を全く使用しない自然農法により栽培した新米1合を、全員にお届けさせて頂きました。1年間、御理解・御協力ありがとうございました。



税についての作文

神奈川県緑県税務署長賞受賞

3年2組 吉村早矢さん

体育活動優秀生徒受賞者

3年3組 伊奈 明音さん

3年3組 黒田大和土さん

青葉区明るい選挙推進作文コンクール 入賞者

3年1組 伊関暖さん(えら坊賞) 3年1組 大森正慈さん(区長賞) 3年1組 廣橋 杏香さん(えら坊賞)
3年1組 横溝 悠さん(委員長賞) 3年2組 河上晴登さん(えら坊賞) 3年2組 小林桔花さん(会長賞)
3年3組 井澤美南さん(えら坊賞)



PTA よいお知らせ

★1月に1年生と2年生の親子ふれあい活動を予定しています。内容につきましては、後日改めてお手紙を配布いたします。保護者の皆様のご参加を是非お待ちしております。

★次年度各委員選出についてのお手紙を配布しました。集計したのち、委員に決定された方には個別にご連絡いたしますので、宜しくお願いします。

PTA 本部役員一同